



や ま むらさきに う み あおく
山 紫 海 碧

第17号

東村立有銘幼・小学校

令和4年9月2日(金)

発行者: 園長・校長 平良 智



「その後の田んぼは・・・」

いよいよ二学期がスタートしました。先日は大型台風十一号の影響が心配されましたが、大きな被害もなくホツとしていくところでした。

七月に保護者、地域の皆様のご協力を得て収穫した稲は、夏休みに羽地ライスセンターさんをお願いし「精米」をしてもらいました。(収穫量については、後日五・六年生から発表があるというので楽しみにされています。)

収穫後そのままになっていた田んぼですが、二期作は実施せずに、来年の植え付けに備えた土づくりに取り組むことにしています。そこで、昨日、刈り取ったあとに残った稲の株の根切りをして、それを反転させる作業をみんなで頑張りました。五・六年生の栽培計画では、しばらく土を寝かせたあと耕運機で土を耕し、緑肥用のコスモスを植えつけて花を楽しみます。咲き終わったらそのコスモスもすき込み、土の養分にして来年の植え付けに活かすそうです。

十一月には、藁を使った大綱づくり体験も有銘区の地域の皆さんにお願いして実施する予定で、田んぼを通して、いろいろな学んでいる子供達です。

今後とも応援よろしく願います。

